

手立て集

	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
自然の事物・現象に対する気付きから問題を見いだすこと	<ul style="list-style-type: none"> ○観察、実験によって解決可能な形で「問い」を設定する。 ○考える技法を踏まえた導入を行う。 ○児童が当たり前だと思っているものを見方や考え方の違いを明らかにして事象を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事象に対する疑問や気付きをノートに記入し、話し合う時間を設定する。 ○児童が書いた気付きカードを黒板に貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○比較を取り入れた事象提示を行う。
予想や仮説を設定すること	<ul style="list-style-type: none"> ○事象を提示する際に、前時と同じ器具を使うことで、児童が予想や仮説を設定しやすくする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○予想を書いたり、話したりする時間を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○予想や仮説とそう考えた根拠を書くような文型を提示する。
観察、実験を構想し、計画を立案すること	<ul style="list-style-type: none"> ○変数に着目できるような板書の工夫を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○観察、実験が可能かどうかを視点に、話し合う時間を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○観察、実験の計画を立てるときに、既習内容を提示する。
観察、実験を実施し、得た結果を整理・分析すること	<ul style="list-style-type: none"> ○観察、実験の結果を全体としてグラフや表に表す。 ○観察、実験の結果をイメージ図や絵、模型を活用して整理・分析ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○結果の過程を述べるルールを設定する。 ○結果の共通点や差異点、傾向性を発表する時間を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○結果と考察の違いを提示する。
見いだした問題に対して結論を導き出すこと	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の目的を常に問い掛ける。 ○児童自身が考察して結論を書く時間を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達に解説をする活動を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○観察、実験の方法と結果を確かめる。 ○結論の書き方の文型を提示する。
学習を振り返ること	<ul style="list-style-type: none"> ○イメージ図を書く時間を設定する。 ○学習したことを基に、連想ゲームをする時間を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が互いに活動を評価し合えるようなルーブリックを提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○まとめるときにキーワードを提示する。 ○学習したことを使ってものづくりの活動を設定する。 ○ポートフォリオなど、自分の学習履歴を振り返る時間を設定する。 ○振り返りカードを準備する。 ○クイズを作る活動を設定する。